

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	国家公務員共済組合連合会東北公済病院		
事業所の名称	国家公務員共済組合連合会東北公済病院		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区国分町2丁目3番11号		
主たる事業	医療業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	1.光熱量、光熱費の月報告 エアコンスイッチのこまめなオンオフ等各職場へ節電等と呼びかけている。 2.設備機器の更新 現有設備が故障し修理が不可能となった場合、費用対効果を考慮し省エネ機器の導入を検討したい。		

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	3,857 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	0.1377
		目標年度	2022 年度	目標排出量	3,857 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位
			削減率	0.00 %	削減率	0.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	3,794 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.1355
			削減率	1.63 %	削減率	1.59 %
	排出量等の増減理由	外部機関による省エネ診断を受け、ボイラー運転の効率性が向上し、ガス使用量の低減につながった。				
	第2年度	2021 年度	排出量	3,507 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.1252
			削減率	9.07 %	削減率	9.07 %
	排出量等の増減理由	外部機関による省エネ診断を受け、ボイラー運転の効率性が向上し、ガス使用量の低減につながった。				
	第3年度	2022 年度	排出量	3,708 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	0.17
		削減率	3.86 %	削減率	-23.46 %	
排出量等の増減理由	前年に引き続き、外部機関による省エネ診断によるボイラー運転の効率性を向上させる取り組みは継続しているが、時間外緊急手術の増加に伴うボイラー稼働時間の伸びがガス使用量へ影響した。					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	89 %	目標年度	93 %
	第1年度	89 %	実施状況の説明等	外部機関による省エネ診断を受け、ボイラー及び空調設備の省エネ運転に注力し、ガス使用量に効果が出た。
	第2年度	89 %	実施状況の説明等	外部機関による省エネ診断を受け、ボイラー及び空調設備の省エネ運転に注力し、ガス使用量に効果が出た。
	第3年度	89 %	実施状況の説明等	前年に引き続き、外部機関による省エネ診断によるボイラー運転の効率性を向上させる取り組みは継続しているが、時間外緊急手術の増加に伴うボイラー稼働時間の伸びがガス使用量へ影響した。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	デマンド管理		実施済
	外部機関による省エネ診断		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		未実施
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	公共交通機関の利用者がほとんどで、定期券を購入しているかのチェックを行い、一部のごく限られた職員のみ自動車利用となっている。	実施済